

地域医療支援病院業務報告書

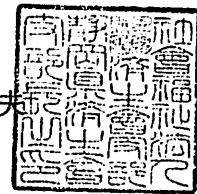
平成 27年 9月25日

(あて先) 静岡市保健所長様

〒422-8527

住 所 静岡県静岡市駿河区小鹿1丁目1番1号

開設者 名称 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
電話 静岡県済生会 支部長 石塚 隆夫
(054) 285-6171



平成26年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称
- 2 開設の場所
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績



別紙1 地域医療支援病院の名称及び開設の場所

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿1丁目1番1号
氏名	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 静岡県済生会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

静岡済生会総合病院

3 所在の場所

〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿1丁目1番1号 電話 (054) 285-6171
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	534床	534床

5 施設の構造設備

施設名	静岡済生会総合病院		
集中治療室	(主な設備) 緊急蘇生セット3セット、除細動器、ペースメーカー2台、心電計3台、ポータブルX線撮影装置1台、呼吸循環監視装置25台、経皮的酸素分圧監視装置、微量輸液装置15台、超音波診断装置、自家発電装置、電解質定量検査装置3台、血液ガス分析装置2台 病床数 33床		
化学検査室	(主な設備) 生化学・免疫自動分析装置、全自動血糖測定装置、全自動HbA1c測定装置		
細菌検査室	(主な設備) 全自動同定感受性検査システム、全自動血液培		
病理検査室	(主な設備) 密閉式自動包埋装置、凍結マイクローム、自動染色装置、全自動免疫染色システム、パラフィン包埋ブロック作製装置、臓器写真撮影装置、滑走式マイクローム		
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、ストライカー、解剖用吸引装置		
研究室	(主な設備) プロジェクター・スクリーン・机つき椅子		
講義室	室数	1 室	収容定員 243 人
図書室	室数	1 室	蔵所数 24, 225冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 輸液ポンプ、シリンジポンプ、成人用・小児用ベッドサイドモニター、除細動器、分娩監視モニター、電動吸引器、閉鎖式・開放式保育器、人工呼吸器、酸素ボンベ、圧縮空気ボンベ、圧力調 保有台数 1 台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	498.8㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

別紙2 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

(他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績)

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	53.4%	算定 期間	26年4月1日～ 27年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	78.0%		
算出 根拠	A：紹介患者の数		7736人
	B：初診患者の数		14491人
	C：逆紹介患者の数		11310人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

月毎の算定内訳がわかる資料添付

資料①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
旧紹介率	55.8%	52.2%	52.8%	52.3%	46.3%	51.8%	54.1%	53.6%	55.0%	58.0%	57.8%	53.7%	53.4%
新紹介率	56.0%	52.5%	52.7%	52.5%	45.5%	51.1%	53.8%	53.7%	55.0%	59.4%	58.6%	53.7%	53.4%
旧逆紹介率	62.0%	66.0%	64.3%	66.8%	62.8%	66.7%	67.4%	68.1%	69.1%	72.5%	78.6%	73.0%	67.8%
新逆紹介率	70.4%	74.3%	71.1%	77.3%	71.4%	76.7%	75.6%	81.7%	83.0%	87.5%	91.5%	83.9%	78.0%
A: 文書による紹介患者数	713	634	682	704	652	667	734	578	569	572	602	629	7,736
B: 緊急的に入院し、治療を必要とした救急患者数(初診かつ紹介なし)	94	76	72	108	102	108	95	114	115	102	90	93	1,169
C: 初診患者数	1,885	1,872	1,829	2,054	2,199	1,909	1,965	1,765	1,936	1,986	1,581	1,767	22,747
D: 休日・夜間に受診した救急患者	551	616	486	630	697	525	543	631	845	962	511	535	7,532
E: 休日・夜間に入院し、治療を必要とした救急患者	89	83	68	102	98	95	93	138	126	116	108	98	1,214
F: 他の病院又は診療所に逆紹介した患者数	897	897	919	1,036	1,023	1,001	1,032	880	859	843	941	982	11,310
G: 時間外等紹介数	23	21	18	26	31	22	17	20	27	23	19	15	262
H: 平日に救急車で受診した患者	60	48	50	84	69	79	57	57	56	61	42	61	724

(国様式例第 14)

別紙 3 共同利用の実績

(地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類)

1 共同利用の実績

1) 病床の共同利用を行った医療機関の延べ数	5	
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	5	
2) 医療機器		
・MRIの共同利用を行った医療機関の延べ数	28	
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	28	
・CTの共同利用を行った医療機関の延べ数	18	
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	18	
・骨密度測定の共同利用を行った医療機関の延べ数	2	
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	2	
・超音波検査の共同利用を行った医療機関の延べ数	5	
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	5	
・骨シンチの共同利用を行った医療機関の延べ数	1	
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	1	
3) 研修施設の共同利用を行った医療機関の延べ数	59	
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	56	
合計	医療機関の延べ数	118
	うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	115
共同利用に係る病床利用率	29.69%	

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること

2 共同利用の範囲等

図書室とその設備
講堂とその設備
会議室(6会議室)とその設備
各検査室(MRI・CT・動脈硬化検査など)とその検査機器
手術室とその設備
研究室とその設備

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 有 ・ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：
職種：事務

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。 資料②

4 登録医療機関の名簿

登録医療機関名簿に記載された医療機関数

医科	144施設	そのうち開設者と直接関係の無い医療機関	144施設
歯科	1施設	そのうち開設者と直接関係の無い医療機関	1施設

※別添 「静岡済生会総合病院 登録医療機関名簿 26年度」資料③ 参照

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

8床

医療機関名	医師氏名	住所	診療科
1 えのもと循環器科・内科		静岡市葵区安西1丁目75	内科・循環器科
2 鈴木内科医院		静岡市葵区安倍口新田526-3	内科・小児科・循環器科
3 井川診療所		静岡市葵区井川1133-2	内科・小児科・外科
4 北村医院内科・眼科		静岡市葵区一番町9	内科・消化器内科
5 宮下医院		静岡市葵区羽島1丁目7-13	内科・消化器科・循環器科
6 服部クリニック		静岡市葵区羽島5丁目7-30	内科・消化器科
7 三枝クリニック・肛門科		静岡市葵区柴町1-1	消化器科・肛門科・外科
8 司馬医院		静岡市葵区柴町2-7	外科
9 もちつき整形外科		静岡市葵区香谷4丁目1-39	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科
10 こじまクリニック内科・循環器科		静岡市葵区香谷5丁目12-7	内科・循環器科
11 溝口クリニック		静岡市葵区古庄2丁目15-26	外科・消化器内科
12 勝又小児科・アレルギー科医院		静岡市葵区紺屋町12-5	小児科・アレルギー科
13 本田眼科医院		静岡市葵区紺屋町8-6	眼科
14 大川診療所		静岡市葵区坂ノ上615	内科・小児科・消化器科
15 森谷内科医院		静岡市葵区山崎1丁目26-9	内科
16 川崎耳鼻咽喉科クリニック		静岡市葵区七間町13-1 センタウビル2階	耳鼻咽喉科・アレルギー科・気管食道科
17 平野医院		静岡市葵区昭和町5-5	産科・婦人科
18 森田クリニック		静岡市葵区上足洗4丁目1-7	内科・胃腸科
19 どもの整形外科クリニック		静岡市葵区上土1丁目1-71	整形外科・リハビリテーション科
20 城北耳鼻咽喉科		静岡市葵区城北29-1	耳鼻咽喉科
21 ときわ公園クリニック		静岡市葵区常盤町3丁目6-14	内科・呼吸器科
22 新瀬り整形外科		静岡市葵区新通1-12-5	整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
23 森本内科循環器科		静岡市葵区新通1丁目11-5	内科・循環器内科
24 望月内科消化器内科クリニック		静岡市葵区新伝馬1丁目11-23	内科・消化器科
25 城西神経内科クリニック		静岡市葵区新富町5-7-6	内科・神経内科・リウマチ科・リハビリテーション科
26 白鳥内科クリニック		静岡市葵区神明町103-2	内科・糖尿病内分泌代謝内科・リウマチ科
27 内科杉山医院		静岡市葵区水道町10-5	内科
28 菅野医院分院		静岡市葵区瀬名1丁目7-3	内科・循環器科
29 勝又整形・形成外科医院		静岡市葵区瀬名川1丁目27-40	整形外科・形成外科・リハビリテーション科
30 小瀬内科胃腸科		静岡市葵区瀬名川1丁目29-32	内科
31 杉山医院		静岡市葵区瀬名川2丁目23-21	内科・小児科・消化器科・小児外科
32 南波耳鼻咽喉科医院		静岡市葵区瀬名中央3丁目28-17	耳鼻咽喉科
33 高良整形外科医院		静岡市葵区瀬名中央4丁目5-53	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科
34 マイクリニック大久保		静岡市葵区川合2丁目1-20	消化器外科・肛門外科・内科・小児科
35 山本内科医院		静岡市葵区川合3丁目13-11	内科・循環器科
36 かげやま医院		静岡市葵区相生町9-5	泌尿器科・性病科
37 美和クリニック		静岡市葵区足久保口組127-7	内科・循環器科
38 勝又医院		静岡市葵区大岩1丁目5-40	内科・循環器科・小児科
39 城北すぎやま整形外科		静岡市葵区大岩本町23-7	整形外科・リハビリテーション科
40 さそう内科呼吸器科クリニック		静岡市葵区大岩2丁目2-5	内科・呼吸器内科・アレルギー科
41 大石内科循環器科医院		静岡市葵区鷹匠2-6-1	胃腸科・外科・肛門科
42 大石外科胃腸科医院		静岡市葵区鷹匠2丁目6-22	胃腸科・外科・肛門科
43 秋山医院		静岡市葵区長沼3丁目2-20	外科・消化器内科・整形外科
44 芳村整形外科医院		静岡市葵区長沼984	整形外科・リハビリテーション科
45 望月小児科医院		静岡市葵区追手町1-27	小児科
46 みどり内科クリニック		静岡市葵区田町2丁目141-18	内科
47 富松レディースクリニック		静岡市葵区東千代田1丁目1-3	産婦人科
48 大はざま小児クリニック		静岡市葵区東千代田2-26-63	小児科・内科
49 トモノ医院		静岡市葵区東鷹匠町24	内科・胃腸科・小児科・外科・整形外科・肛門科
50 みたけ内科循環器科クリニック		静岡市葵区東鷹匠町4-10	内科・循環器科
51 佐々木ハートクリニック		静岡市葵区南瀬名町26-39	内科・循環器科
52 白鳥内科医院		静岡市葵区片羽町58	内科・神経内科
53 川野辺小児科		静岡市葵区北安東3丁目21-17	小児科
54 佐藤外科内科医院		静岡市葵区北安東3丁目3-28	内科・呼吸器科・胃腸科・外科・リハビリテーション科
55 青山医院		静岡市葵区北一丁目10-18	内科・胃腸科・小児科
56 岡外科胃腸科医院		静岡市葵区本通西町39	外科・胃腸科・肛門科・整形外科・リハビリテーション科
57 ゆずの木町内科・循環器科		静岡市葵区袖木町2	内科・循環器科
58 吉川医院		静岡市葵区竜南1丁目14-31	内科・消化器内科・内視鏡内科・外科
59 袴田外科医院		静岡市葵区籠上13-20	外科・消化器内科・肛門外科・整形外科・リハビリテーション科
60 杉浦内科		静岡市駿河区みずほ4丁目10-10	内科
61 小児科ののだ医院		静岡市駿河区下川原5丁目19-15	小児科
62 岩はし内科医院		静岡市駿河区丸子2丁目2-8-5	内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・小児科
63 おさだ耳鼻咽喉科		静岡市駿河区丸子新田536	耳鼻咽喉科・アレルギー科
64 大谷はざまクリニック		静岡市駿河区宮川39-20	消化器科・外科・リハビリテーション科・肛門科・麻酔科
65 堀田内科医院		静岡市駿河区宮竹1丁目4-7	内科・循環器科・神経内科・リハビリテーション科
66 静岡曲金クリニック		静岡市駿河区曲金3丁目5-5	内科・リウマチ科
67 静岡共立クリニック		静岡市駿河区曲金4-1-25	内科
68 野口耳鼻咽喉科医院		静岡市駿河区曲金4-3-7	耳鼻咽喉科・気管食道科・アレルギー科
69 おかもとレディースクリニック		静岡市駿河区曲金4丁目7-3	産婦人科
70 岡本外科クリニック		静岡市駿河区曲金4丁目7-3	外科・胃腸科・肛門科・放射線科
71 堀向医院		静岡市駿河区曲金5丁目4-63	内科・消化器内科
72 板井クリニック		静岡市駿河区曲金7丁目7-19	外科・胃腸科・肛門科
73 静岡広野病院		静岡市駿河区広野1494-8	内科
74 宮田医院		静岡市駿河区国吉田4丁目24-17	消化器科
75 こくまこどもクリニック		静岡市駿河区国吉田5丁目13-1	小児科・アレルギー科
76 近藤医院		静岡市駿河区手越310	内科・消化器科・小児科
77 飯山内科クリニック		静岡市駿河区小黒2丁目9-13	内科・消化器科
78 いずみ眼科		静岡市駿河区小鹿2-1-11	眼科
79 ちよう内科医院		静岡市駿河区小鹿430-3	内科・消化器内科
80 まつもとこどもクリニック		静岡市駿河区上川原713-1	小児科・アレルギー科
81 山崎医院		静岡市駿河区新川1丁目19-5	内科・消化器科・小児科
82 小長井整形外科医院		静岡市駿河区新川2丁目5-31	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科
83 きくち内科医院		静岡市駿河区新川2丁目8-3	内科・消化器科
84 おくむらメンタルクリニック		静岡市駿河区森下町1-30 サンユビル2階	心療内科・精神科
85 聖一色斎藤医院		静岡市駿河区聖一色414-8	内科・神経内科
86 山田医院		静岡市駿河区聖一色473-1	内科・消化器科・小児科
87 三神医院		静岡市駿河区西大谷4-4	消化器科・内科
88 松生整形外科医院		静岡市駿河区西島528	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科
89 萩原医院		静岡市駿河区西脇29-1	内科・呼吸器科・アレルギー科・リハビリテーション科

医療機関名	医師氏名	住所	診療科
90 内科・消化器科 福田医院		静岡市駿河区西脇746-1	内科・循環器科・消化器科・胃腸科
91 矢島耳鼻咽喉科気管食道科医院		静岡市駿河区泉町2-3 アズマビル2階	耳鼻咽喉科・気管食道科
92 杉山医院		静岡市駿河区泉町4-5	内科・小児科・消化器内科
93 長島耳鼻咽喉科医院		静岡市駿河区池田275-1	耳鼻咽喉科・アレルギー科
94 渡辺内科医院		静岡市駿河区池田649-1	内科・呼吸器科・循環器科・小児科
95 たんぽぽ診療所		静岡市駿河区中吉田26-16	内科・腎臓内科・疼痛緩和内科
96 福間産婦人科クリニック		静岡市駿河区中原739-1	産婦人科・産科・婦人科
97 原田医院		静岡市駿河区中村町73-12	内科・胃腸科・循環器科
98 高野外科胃腸科医院		静岡市駿河区中田1丁目7-11	外科・胃腸科・整形外科・リハビリテーション科
99 戸田クリニック		静岡市駿河区中田2丁目3-17	アレルギー科・小児科
100 桜井クリニック		静岡市駿河区中田本町6-11	内科・消化器科
101 かわばら医院 小児科・アレルギー科		静岡市駿河区登呂2丁目8-32	アレルギー科・小児科
102 かもと整形外科医院		静岡市駿河区登呂4丁目2-21	整形外科・リハビリテーション科
103 薬山クリニック		静岡市駿河区登呂5丁目11-9	内科・循環器科
104 登呂杉山医院		静岡市駿河区登呂5丁目4-1	内科・消化器内科
105 うえだ小児科		静岡市駿河区登呂6丁目13-36	小児科
106 佐藤内科医院		静岡市駿河区南町12-19	内科・消化器科・放射線科
107 わたなべクリニック		静岡市駿河区南町6-16 ハレルネックス104	内科・呼吸器科・小児科
108 皮膚科・アレルギー科 宇野医院		静岡市駿河区馬淵1丁目11-15	皮膚科・アレルギー科
109 石井内科医院		静岡市駿河区馬淵2丁目10-20	内科・胃腸科・循環器科
110 飯室クリニック		静岡市駿河区馬淵4丁目16-12	内科・循環器内科
111 田村外科医院		静岡市駿河区八幡3丁目21-26	外科・消化器科・呼吸器科
112 やはた内科・循環器内科		静岡市駿河区八幡4-7-21	内科・循環器内科
113 塩川八幡ヒルズクリニック		静岡市駿河区八幡5丁目32-10	神経内科・脳神経外科・眼科
114 大町耳鼻咽喉科医院		静岡市駿河区八幡5丁目7-34	耳鼻咽喉科・気管食道科
115 ふかさわレディスクリニック		静岡市駿河区敷地1丁目18-10	婦人科・産科
116 キッズクリニックさの		静岡市駿河区敷地1丁目18-19	小児科・アレルギー科
117 おおや整形外科クリニック		静岡市駿河区片山8-15	整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
118 望整形外科		静岡市駿河区豊田1丁目1-20	整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
119 白鳥消化器内科医院		静岡市駿河区豊田1丁目7-22	消化器科・内科・肛門科・リハビリテーション科
120 増田こどもクリニック		静岡市駿河区豊田1丁目8-30	小児科・アレルギー科・小児皮膚科
121 高野橋医院 脳神経外科 心臓血管外科		静岡市駿河区北丸子2丁目5-10	脳神経外科・心臓血管外科
122 大島医院		静岡市駿河区用宗1丁目33-3	胃腸科・外科
123 用宗落合診療所		静岡市駿河区用宗4丁目2-2	内科
124 片山耳鼻咽喉科医院		静岡市清水区宮加三551-5	耳鼻咽喉科
125 菅木内科医院		静岡市清水区興津清見寺町143-17	内科
126 広川医院		静岡市清水区高橋3-4-40	小児科
127 福地外科循環器科医院		静岡市清水区七ツ新屋2-4-15	循環器科・内科・呼吸器科・胃腸科・リハビリテーション科・整形外科・肛門科
128 古沢外科医院		静岡市清水区七ツ新屋427-11	外科・整形外科・胃腸科
129 春日耳鼻咽喉科クリニック		静岡市清水区春日1-6-18	耳鼻咽喉科
130 渡辺内科医院		静岡市清水区上清水町11-18	内科・消化器科・胃腸科
131 原小児科医院		静岡市清水区神田町5-5	小児科・アレルギー科
132 柴田内科医院		静岡市清水区西久保318	内科・循環器科・胃腸科
133 中川内科小児科医院		静岡市清水区石川新町8-31	内科・小児科
134 磯貝医院		静岡市清水区草薙1丁目15-23	内科・消化器科・胃腸科・気管食道科・外科
135 草薙土屋外科医院		静岡市清水区草薙1丁目25-35	循環器科・外科・肛門科
136 渡辺外科医院		静岡市清水区草薙一里山3-33	外科・胃腸科・肛門科・皮膚科・整形外科
137 望月クリニック		静岡市清水区大沢町2-14	外科・泌尿器科・性病科・リハビリテーション科
138 浅井内科医院		静岡市清水区中矢部町3-15	内科・呼吸器科・循環器科・小児科・胃腸科
139 東クリニック		静岡市清水区辻1丁目3-18	心療内科・精神科
140 中村眼科医院		静岡市清水区天神1-11-24	眼科
141 耳鼻咽喉科 まこし医院		静岡市清水区巴町14-12	耳鼻咽喉科
142 佐野内科医院		静岡市清水区八木間町1871	内科 小児科
143 松浦整形外科		静岡市清水区平川地7-30	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科
144 小原医院		静岡市清水区有度本町2-15	内科・循環器内科・消化器内科
145 長井歯科口腔外科		静岡市葵区瀬名中央4丁目5-65	歯科・歯科口腔外科

医科 144施設 歯科 1施設

別紙 4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況 別添資料④

医師：常勤・専従	102名	(研修医17名含む)
歯科医師：常勤・専従	3名	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	33床
専用病床	17床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター 西館1階	882.9㎡	(主な設備) 救命蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計	可
ICU 西館2階	866.3㎡	(主な設備) 心電図モニター、他	可
ICU 西館3階	864.7㎡	(主な設備) 人工呼吸器、バイパップ、PCPS、IABP	可
MRI棟	235.7㎡	(主な設備) MRI	可
	㎡	(主な設備)	

4 備考

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定、又救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき、病院群輪番制病院、救命救急センターを運営している病院である。
--

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績 月毎の実績がわかる資料添付 資料⑤

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4177人 (1885人)
上記以外の救急患者の数	12490人 (1562人)
合計	16667人 (3447人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

3 救命救急センター受診患者数

資料⑤

26年度 患者数		H26.4	H26.5	H26.6	H26.7	H26.8	H26.9	H26.10	H26.11	H26.12	H27.1	H27.2	H27.3	合計
救急車	入院	147人	141人	128人	151人	147人	165人	156人	184人	186人	189人	135人	156人	1,885人
	外来	176人	182人	157人	205人	208人	169人	180人	203人	240人	222人	171人	179人	2,292人
	計	323人	323人	285人	356人	355人	334人	336人	387人	426人	411人	306人	335人	4,177人
ウォーク イン	入院	113人	128人	128人	133人	135人	141人	121人	140人	148人	129人	115人	131人	1,562人
	外来	800人	874人	770人	944人	1,039人	827人	790人	852人	1,242人	1,353人	685人	752人	10,928人
	計	913人	1,002人	898人	1,077人	1,174人	968人	911人	992人	1,390人	1,482人	800人	883人	12,490人
合計	入院	260人	269人	256人	284人	282人	306人	277人	324人	334人	318人	250人	287人	3,447人
	外来	976人	1,056人	927人	1,149人	1,247人	996人	970人	1,055人	1,482人	1,575人	856人	931人	13,220人
	計	1,236人	1,325人	1,183人	1,433人	1,529人	1,302人	1,247人	1,379人	1,816人	1,893人	1,106人	1,218人	16,667人

NO	職種	氏名	勤務の様態	勤務時間	勤務表による勤務	備考	勤続年数	勤続月数
1	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	外科	7	3
2	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	外科	2	9
3	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	外科	3	0
4	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	外科	0	9
5	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	外科	6	9
6	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	外科	2	0
7	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	外科	0	5
8	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	外科	5	6
9	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	外科	24	0
10	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	脳神経外科	4	0
11	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	脳神経外科	11	6
12	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	脳神経外科	1	6
13	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	脳神経外科	17	0
14	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	脳神経外科	9	0
15	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	胸部・心臓血管外科	12	0
16	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	胸部・心臓血管外科	21	0
17	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	循環器内科	2	10
18	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	循環器内科	6	0
19	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	循環器内科	6	0
20	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	循環器内科	9	0
21	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	不整脈科	7	5
22	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	腎臓内科	3	4
23	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	腎臓内科	6	0
24	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	腎臓内科	8	0
25	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	腎臓内科	4	10
26	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	腎臓内科	3	0
27	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	内分泌代謝科	10	6
28	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	緩和医療科	5	5
29	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	緩和医療科	6	0
30	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	総合診療科	1	9
31	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	総合診療科	24	6
32	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	消化器内科	4	0
33	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	消化器内科	1	6
34	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	消化器内科	3	3
35	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	消化器内科	3	0
36	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	消化器内科	8	0
37	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	神経内科	10	0
38	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	神経内科	12	8
39	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	神経内科	30	11
40	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	血液内科	10	0
41	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	4	0
42	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	9	0
43	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	3	0
44	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	2	0
45	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	1	0
46	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	5	0
47	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	5	4
48	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	2	6
49	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	0	9
50	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	1	0
51	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	整形外科	4	0
52	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	耳鼻咽喉科	3	1
53	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	耳鼻咽喉科	1	0
54	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	耳鼻咽喉科	9	9
55	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	耳鼻咽喉科	1	11
56	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	耳鼻咽喉科	3	6
57	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	眼科	4	0
58	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	眼科	2	0
59	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	眼科	2	0
60	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	眼科	1	0
61	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	小児科	5	0
62	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	小児科	1	6
63	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	小児科	7	11
64	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	小児科	1	6
65	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	小児科	6	0
66	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	小児科	7	0

NO	職種	氏名	勤務の様態	勤務時間	備考	勤続年数	勤続月数
67	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	産婦人科	9 0
68	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	産婦人科	7 0
69	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	産婦人科	1 0
70	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	産婦人科	8 8
71	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	産婦人科	4 0
72	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	皮膚科	3 1
73	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	皮膚科	9 9
74	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	皮膚科	2 0
75	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	形成外科	2 0
76	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	形成外科	2 0
77	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	形成外科	3 0
78	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	泌尿器科	8 0
79	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	泌尿器科	0 10
80	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	泌尿器科	9 0
81	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	麻酔科	13 11
82	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	精神科	5 5
83	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	放射線科	19 0
84	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	救命救急科	1 3
85	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	病理診断科	2 5
86	歯科医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	歯科・歯科口腔外科	7 6
87	歯科医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	歯科・歯科口腔外科	2 0
88	歯科医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	歯科・歯科口腔外科	13 0
89	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医1年目	1 0
90	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医1年目	1 0
91	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医1年目	1 0
92	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医1年目	1 0
93	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医1年目	1 0
94	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医1年目	1 0
95	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医1年目	1 0
96	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0
97	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0
98	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0
99	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0
100	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0
101	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0
102	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0
103	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0
104	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0
105	医師		常勤-専従	月~金 8:30-17:15(45)	勤務表による勤務	研修医2年目	2 0

別紙 5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

1 研修の内容

【平成26年度】	
地域ケア従事者研修会	
開催延べ件数	2回
研修参加者延べ数	115人
・当院参加者数	12人 (医師以外12人)
・院外参加者数	103人 (医師以外103人)
新生児蘇生法「専門コース」講習会	
開催延べ件数	11回
研修会参加延べ数	69人
・当院参加者数	13人 (医師8人、医師以外5人)
・院外参加者数	56人 (医師6人、医師以外50人)
BLSコース研修会	
開催延べ件数	15回
研修会参加延べ数	167人
・当院参加者数	90人 (医師8人、医師以外82人)
・院外参加者数	77人 (医師30人、医師以外47人)
診療科部門発表会	
開催延べ件数	3回
研修会参加延べ数	185人
・当院参加者数	177人 (医師44人、医師以外133人)
・院外参加者数	8人 (医師8人)

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	31回
(2) (1) の合計研修者数	536人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること

研修会ごとの資料 資料⑥

【研修実施報告】

資料⑥

地域ケア従事者研修会 9/10 「本当に大切なものを求めて」「癌と生きる」
2/25 「人生の物語を共に紡ぐ」「訪問看護の実際」

開催年月日	会場	参加者 (単位:人)			
		職種	内部	外部(医師)	外部(医師以外)
平成26年9月10日	講堂	看護師 介護士等	6	0	71
平成27年2月25日			6	0	32
		合計	12	0	103

新生児蘇生法「専門」コース講習会

開催年月日	会場	参加者 (単位:人)			
		職種	内部	外部(医師)	外部(医師以外)
平成26年5月15日	北館7階	医師・看護師 助産師・学生	2	2	0
平成26年7月2日	津島市民病院(愛知県)		0	0	6
平成26年7月17日	北館7階		3	0	4
平成26年8月13日	くさなぎマタニティクリニック		0	0	3
平成26年9月4日	静岡厚生病院		2	0	6
平成26年9月13日	あざれあ		0	0	9
平成26年9月18日	北館7階		1	1	2
平成26年12月18日	北館7階		3	0	2
平成26年12月23日	津島市民病院(愛知県)		0	0	6
平成27年3月14日	名古屋掖済会病院(愛知県)		0	3	10
平成27年3月19日	北館7階		2	0	2
	合計		13	6	50

BLSコース

「一次救命処置」

開催年月日	会場	参加者 (単位:人)			
		職種	内部	外部(医師)	外部(医師以外)
平成26年4月19日	講堂	医師 医師以外	9	0	0
平成26年5月17日	中東遠総合医療センター		0	8	6
平成26年6月21日	講堂		9	1	3
平成26年7月6日	関東労災病院		0	1	8
平成26年7月12日	講堂		14	0	3
平成26年8月3日	関東労災病院		0	0	7
平成26年8月10日	講堂		8	2	7
平成26年9月7日	関東労災病院		0	9	0
平成26年9月27日	講堂		6	0	4
平成26年10月25日			4	2	1
平成26年11月16日			13	2	1
平成26年12月20日			7	0	1
平成27年1月17日			8	1	2
平成27年2月22日			8	3	1
平成27年3月15日			4	1	3
			合計	90	30

診療科・部門発表会 「各診療科の部科長から科の特徴、取り組み、実勢の発表」

開催年月日	会場	参加者 (単位:人)			
		職種	内部	外部(医師)	外部(医師以外)
平成26年8月27日	講堂	医師 医師以外	67	3	0
平成26年9月24日			56	3	0
平成26年10月29日			54	2	0
		合計	177	8	0

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ・無

イ 研修委員会設置の有無 ・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経 年数	特記事項
[REDACTED]	医師	脳神経外科	院長、部長	35	管理委員
[REDACTED]	医師	腎臓内科	部長	21	教育責任者・管理委員
[REDACTED]	医師	整形外科	医師	9	管理委員
[REDACTED]	医師	循環器内科	部長	24	管理委員
[REDACTED]	医師	不整脈科	科長	13	管理委員
[REDACTED]	医師	内分泌代謝科	部長	24	管理委員
[REDACTED]	医師	緩和医療科	部長	23	管理委員
[REDACTED]	医師	消化器内科	部長	23	管理委員
[REDACTED]	医師	神経内科	部長	31	管理委員
[REDACTED]	医師	血液内科	部長	19	管理委員
[REDACTED]	医師	皮膚科	科長	19	管理委員
[REDACTED]	医師	放射線科	部長	28	管理委員
[REDACTED]	医師	総合診療科	部長	36	管理委員
[REDACTED]	医師	外科	部長	35	管理委員
[REDACTED]	医師	外科	部長	27	管理委員
[REDACTED]	医師	胸部・心臓血管外科	部長	30	管理委員
[REDACTED]	医師	整形外科	科長	18	管理委員
[REDACTED]	医師	手外科マイクロシヤリ科	科長	19	管理委員
[REDACTED]	医師	耳鼻咽喉科	部長	28	管理委員
[REDACTED]	医師	眼科	科長	12	管理委員
[REDACTED]	医師	形成外科	科長	11	管理委員
[REDACTED]	医師	泌尿器科	科長	12	管理委員

██████████	医師	小児科	部長	26	管理委員
██████████	医師	小児科（新生児科）	科長	18	管理委員
██████████	医師	産婦人科	科長	15	管理委員
██████████	医師	麻酔科	部長	24	管理委員
██████████	医師	救命救急科	部長	26	管理委員
██████████	医師	精神科	部長	33	管理委員
██████████	医師	病理診断科	医師	63	管理委員
██████████	医師	循環器内科	医長	11	
██████████	医師	循環器内科	医長	9	
██████████	医師	腎臓内科	医長	11	
██████████	医師	腎臓内科	医師	9	
██████████	医師	腎臓内科	医師	8	
██████████	医師	緩和医療科	医長	19	
██████████	医師	消化器内科	医長	15	
██████████	医師	消化器内科	医師	7	
██████████	医師	神経内科	部長	30	
██████████	医師	神経内科	医長	18	
██████████	医師	皮膚科	医長	14	
██████████	医師	総合診療科	部長	36	
██████████	医師	外科	部長	21	
██████████	医師	外科	医長	12	
██████████	医師	外科	医長	12	
██████████	医師	外科	医師	7	
██████████	医師	脳神経外科	部長	22	
██████████	医師	脳神経外科	医長	18	
██████████	医師	脳神経外科	医長	17	管理委員

[REDACTED]	医師	胸部・心臓血管外科	副部長	24	
[REDACTED]	医師	整形外科	医師	7	
[REDACTED]	医師	整形外科	医師	7	
[REDACTED]	医師	整形外科	医師	7	
[REDACTED]	医師	耳鼻咽喉科	医長	13	
[REDACTED]	医師	耳鼻咽喉科	医長	12	
[REDACTED]	医師	眼科	医師	9	
[REDACTED]	医師	眼科	医師	7	
[REDACTED]	医師	泌尿器科	医師	8	
[REDACTED]	医師	小児科	医長	11	
[REDACTED]	医師	小児科	医師	8	
[REDACTED]	医師	産婦人科	医長	13	
[REDACTED]	医師	産婦人科	医師	7	
[REDACTED]	医師	産婦人科	医師	41	
[REDACTED]	医師	健康管理科	医長	13	
[REDACTED]	リハビリテーション技士	リハビリテーション科	技士長		
[REDACTED]	リハビリテーション技士	リハビリテーション科	主幹		管理委員
[REDACTED]	放射線技師	放射線技術科	技師長		
[REDACTED]	放射線技師	放射線技術科	主任		管理委員
[REDACTED]	検査技師	臨床検査科	技師長		
[REDACTED]	検査技師	臨床検査科	主任		管理委員
[REDACTED]	臨床工学技士	臨床工学科	技士長		
[REDACTED]	管理栄養士	栄養管理科	科長		
[REDACTED]	薬剤師	薬剤科	科長		
[REDACTED]	薬剤師	薬剤科	副主任		管理委員
[REDACTED]	看護師	看護管理室	看護部長		管理委員

[REDACTED]	看護師	看護管理室	副看護部長		管理委員
[REDACTED]	看護師	看護管理室	師長		
[REDACTED]	看護師	南3病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	南4病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	南5病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	南6病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	南7病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	南8病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	南9病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	南10病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	北3病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	北4病棟	師長		
[REDACTED]	看護師	NICU	主任		
[REDACTED]	看護師	救命救急センター	師長		
[REDACTED]	看護師	救命救急センター	師長		
[REDACTED]	看護師	手術センター	師長		
[REDACTED]	看護師	透析室	師長		
[REDACTED]	看護師	外来看護師長室	師長		
[REDACTED]	看護師	医療安全室	師長		
[REDACTED]	看護師	院内感染対策室	師長		
[REDACTED]	MSW	地域医療センター	副センター長		
[REDACTED]	事務	事務部長室	事務部長		管理委員
[REDACTED]	事務	総務管理課 人事室	室長		管理委員
[REDACTED]	事務	経営企画課	主幹		管理委員
[REDACTED]	事務	経営企画課	主任		管理委員
[REDACTED]	事務	教育センター	主任		管理委員

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	221.40㎡	(主な設備) プロジェクター・マイク・簡易蘇生訓練 用人形・机・椅子
研究室	50.04㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン・机付き椅子
第2会議室	52.64㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン・机・椅子
第3会議室	44.91㎡	(主な設備) プロジェクター・スクリーン・机・椅子
第5会議室	30.64㎡	(主な設備) 机・椅子・ホワイトボード
第6会議室	24.99㎡	(主な設備) 机・椅子・ホワイトボード

別紙6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長 ██████████
管理担当者氏名	事務部長 ██████████ 地域医療センター ██████████

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報室・カルテ室	電子カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域連携室	
	閲覧実績	地域連携室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

別紙7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	病院長 [REDACTED]
閲覧担当者氏名	事務部長 [REDACTED] 地域医療センター [REDACTED]
閲覧の求めに応じる場所	地域医療センター
閲覧の手続の概要 申込者による申請(電話・来所・文書など)、臨機応変に地域連携室が対応 ↓ 閲覧責任者による決裁(事案により、地域医療委員会で審議、検討を行う場合がある) ↓ 申請者に可否の連絡(閲覧担当者より) ↓ 地域連携室にて閲覧の実施	

前年度の総閲覧件数		0件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件

別紙8 医療法施行規則第9条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4回	
委員会における議論の概要		
<p>平成26年度 第1回 静岡済生会総合病院地域医療支援病院運営委員会</p> <p>日時 平成26年9月25日</p> <p>場所 院内第三会議室</p> <p>出席者 院外委員5名 院内7名</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年度の実績報告 <ol style="list-style-type: none"> ①紹介、逆紹介率 ②救急医療の提供 ③研修 ④ふじのくにねっと ⑤イーツーネット 2. 退院支援の現状 3. 今年度の紹介、逆紹介 4. 今年度の取り組み <ol style="list-style-type: none"> ①逆紹介推進の取り組み ②地域と「顔が見える関係づくり」を目指して ③当院の専門分野、特徴の紹介（病診連携パンフレットの作成） ④来院患者に対する診療所紹介（診療所リーフレットの作成） 5. 意見交換 		
<p>平成26年度 静岡済生会総合病院 病診連携システム運営協議会（静岡市静岡医師会）</p> <p>日時 平成26年10月15日</p> <p>場所 院内第三会議室</p> <p>出席者 院外8名 院内18名</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の現状及び実績報告 2. 退院支援の現状 3. 意見交換 4. 今年度の課題と取り組み 		
<p>平成26年度 静岡済生会総合病院 病診連携システム運営協議会（静岡市清水医師会）</p> <p>日時 平成27年1月20日</p> <p>場所 清水保健福祉センター3階</p> <p>出席者 院外19名 院内13名</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の現状及び実績報告 		

2. 退院支援の現状
3. 意見交換
4. 今年度の課題と取り組み

平成26年度 第2回 静岡済生会総合病院地域医療支援病院運営委員会

日時 平成27年2月24日

場所 院内第三会議室

出席者 院外委員5名 院内7名

議題 1. 今年度の実績報告

①紹介、逆紹介 ②救急医療の提供 ③研修

2. 他機関との協働
3. 数値で見る長期入院患者の退院支援
4. 意見交換

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

配付資料、議事録、委員会名簿を添付 資料⑦

H26年度 地域医療支援病院運営委員会 委員名簿

氏名	団体名等
[REDACTED]	静岡市静岡医師会 副会長
[REDACTED]	静岡市清水医師会 会長
[REDACTED]	静岡市静岡歯科医師会 副会長
[REDACTED]	静岡市薬剤師会 副会長
[REDACTED]	静岡県立大学短期大学部 教授
[REDACTED]	静岡市保健所 所長
[REDACTED]	静岡済生会総合病院 病院長
[REDACTED]	同上 副院長
[REDACTED]	同上 副院長
[REDACTED]	同上 副院長
[REDACTED]	同上 地域医療委員会 委員長
[REDACTED]	同上 看護部長
[REDACTED]	同上 事務部長

敬称略

平成 26 年度第 1 回 静岡済生会総合病院 地域医療支援病院運営委員会

日時 : 平成 26 年 9 月 25 日 (火) 19 : 30 ~ 20 : 36

場所 : 静岡済生会総合病院 第 3 会議室

出席者

院外 [redacted] (静岡市静岡医師会 副会長)
[redacted] (静岡市清水医師会 会長)
[redacted] (静岡市静岡歯科医師会 副会長)
[redacted] (静岡市薬剤師会 副会長)
[redacted] (静岡市保健所 所長)

欠席

[redacted] (静岡県立大学短期大学部 教授)

院内 [redacted] (病院長)
[redacted] (副院長)
[redacted] (副院長)
[redacted] (副院長)
[redacted] (地域医療委員会 委員長)
[redacted] (看護部長)
[redacted] (事務部長)

事務局

[redacted] (地域医療センター)
[redacted] (地域医療センター 医療相談室)
[redacted] (地域医療センター 地域連携室)
[redacted] (地域医療センター 地域連携室)

1. 開会挨拶

2. 自己紹介

3. 議事 (資料参照)

4. 意見交換

- 先生 紹介率・逆紹介率、新しい要件で大変。リーフレットは広報紙に掲載されているものとは別か。
- 部長 別の物。
- 先生 医療法に抵触しないか。
- 部長 以前保健所に問い合わせた際に、不特定多数に配布する物でなければ説明等に使用して良いと返答をもらっている。
- 先生 アンケートについては、まずは医師会へ連絡を。
- 先生 救急搬送の件数は伸びているか。
- 部長 横ばい
- 院長 4,000 台位
- 副会長 10%程度の薬局が在宅を行うとのリストがあるが、実績はまだ無い。退院支援はあまり行っていない。県総・子ども病院は薬剤師が呼ばれる。済生会・日赤・市立静岡は呼ばれていない。
- 副主任 去年は2件位。がんのターミナル。
- 副会長 認知症、IVHの患者さんについて呼ばれることが多い。
- 院長 (副会長へ) ふじのくにねっとは広まっていくな。
- 副会長 パソコンのセキュリティの問題がある。専用回線のパソコンが必要だが、それがネック。静岡県版在宅ネットの方が使いやすい。
- 先生 静岡県版在宅ネット進んでいる。
- 院長 調剤薬局は積極的か。
- 副会長 データが見れる方が良いが、手軽さは無い。ハードル高い。
- 副会長 周術期の口腔ケアについて、県総・市立静岡で進めて行こうという話になった。いろいろな患者さんがいるので、どこまでできるか。軽い症状の患者さんは歯科医師会で。
- 先生 周術期口腔ケアを依頼した場合、困ることはあるか。
- 副会長 書類を整えて、情報をいただければ。
- 部長 依頼できる診療所は一部か。
- 副会長 講習を受け、登録している歯科医師がいる。
- 部長 日程調整は難しいか。
- 副会長 緊急の方については、速やかに対応したい。

5. その他

6. 閉会挨拶

終了 20:36

平成26年度 病診連携システム運営協議会

(第22回)

日時：平成26年10月15日(水) 19:30~21:20

場所：当院 講堂

出席者：静岡市静岡医師会 会長 [REDACTED]
副会長 [REDACTED]
副会長 [REDACTED]
理事 [REDACTED]
理事 [REDACTED]
理事 [REDACTED]
地域医療委員会委員 [REDACTED]
事務局長 [REDACTED]

当院 [REDACTED] 病院長
[REDACTED] 副院長
[REDACTED] 副院長
[REDACTED] 副院長
[REDACTED] 消化器内科部長 (地域医療委員会 委員長)
[REDACTED] 看護部長
[REDACTED] 地域医療センター 看護師長
[REDACTED] 看護師長
[REDACTED] 看護師長
[REDACTED] 看護師長
[REDACTED] 地域医療センター 看護師副主任
[REDACTED] 超音波検査室長
[REDACTED] 総務管理課長
[REDACTED] 地域医療センター主幹
[REDACTED] 医療相談室長
[REDACTED] 地域連携室長
[REDACTED] 地域連携室
[REDACTED] 地域連携室

1. 開会挨拶

2. 挨拶

3. 自己紹介

4. 内容 (資料参照)

5. 意見交換

- ■■■先生 イエローカードの新システムとは。
- ■■■ 制度が変更になった平成18年以降のこと。
- ■■■先生 イエローカードの方は、本来、救命受診をするようになっているが、統計の本院とは。
- ■■■ 本院に受診された方のデータも計上した。
- ■■■先生 次回、救急搬送かそれ以外かも教えてほしい。
- ■■■先生 末期がん患者 (S-NETではない) の訪問診療について。病院だけ受診ではなく、再発した時点や非治癒の段階で診療所との連携を。手術適用ではなく、内科に転科すると連携からはずれてしまうことがある。訪問診療を行える診療所の選択が偏っていないか。在宅安心連携システムを参照して偏らないように。
- ■■■副主任 急に依頼をすることがあるが、確認していきたい。
- ■■■先生 再発すると、末期になる可能性高い。かかりつけ医が訪問診療を行っていない場合、よい手立てはないか。
- ■■■先生 かかりつけ医が訪問診療を行っていないという確率はどれくらいか。稀では。その場合は仕方がないのでは。再発した段階で病診連携を。
- ■■■先生 S-NETで緩和医療を本気で行う診療所医師が23人いる。早期にケアマネが介入、調整。しかし、介護保険認定前のため、無報酬になってしまう。家族が診療所を探すことの無い様、窓口を1つにする。チェックリストを作る。外来から急に在宅になる際、トラブル多い。婦人科のがんの方、どの診療所 (婦人科 or 緩和医療科) か迷う。脳卒中・S-NET以外の連携患者数も算出してほしい。
- ■■■先生 CKDはイーツーネットに加入していないか。
- ■■■ 確認する。
- ■■■先生 静岡県版在宅ネットに加入を。
- ■■■先生 在宅医療について、かかりつけ医、他の診療所が訪問診療を行っておらず、済生会が訪問診療を行っているケースは多々あるか。

- 〇〇 副主任 多数ではないが、緩和医療科医師が訪問診療を行っているケースがある。
- 〇〇 先生 緩和医療以外で、認知症やHOTの方など声をかけてもらえれば。
- 〇〇 先生 がんの末期は急激に進んでいくので病診連携を。医療材料についてのノウハウ、相談したり、力を借りたい。IVHポートが必要になった際のバックアップ体制を。
- 〇〇 副主任 急に必要になった時には、病院でバックアップ体制を。他の病院担当者との勉強会を予定している。
- 〇〇 先生 IVHポートの補液などを依頼できる診療所は。どの程度依頼できるか。診療所の医師に手技を依頼できれば。
- 〇〇 先生 イーツーネット登録医名簿で分かるか確認する。
- 〇〇 先生 S-NETを通じて啓蒙している。

6. 今年度の課題と取り組み

7. 「医療機関情報のお問い合わせ」について

- 〇〇 先生 医師会・理事会で検討。アンケート項目が症例によって異なる場合があり、返答に迷うものも。情報の使用方法に不安を抱き、返答しない診療所もある。アンケートについては一旦白紙に。市内総合病院で相談後、医師会へ。医師会からの情報を充実させたい。
- 〇〇 返答済のものに関して白紙か。
- 〇〇 先生 返答していない診療所もあるので、不公平。白紙に。
- 〇〇 先生 整形外科に関する事なら、医師会の整形外科から情報収集して、各病院に提供することは可能。全科だと收拾がつかないか。各科に専門的な事を聞く方が収集しやすいか。他の病院と一緒に。
- 〇〇 他病院の連携室と相談後、医師会へ相談する。リーフレットについても医師会に相談する。
- 〇〇 先生 患者さんに開示した場合、一つの選択肢になるが、「可能だと記載があるのに行ってくれない」などとトラブルになるのでは。リーフレットとして出さない方がよいのでは。
- 〇〇 院長 誤解を解いておく。リーフレットには、アンケート内容の大半は掲載されず、施設設備に関する事が掲載される。アンケート内容については、病院医師が判断材料として役立つ。
- 〇〇 先生 アンケートは病院が知りたい必要な情報ということは分かる。本来、医師会がこのような情報を提供すべきと思うが。会員名簿の改定を行い、ケアマネ・病院医師に配布する予定であったが、アンケートに返答してくれない診療所がかなりあり、滞っている。出来上がっていい

ば、このような手間をかけずに済んだ。今後、アンケートを実施する際は、医師会に連絡を。他病院とも相談を。リーフレットはすべての診療所を作成か。

○ []

医師会所属の診療所。

○ [] 先生

それぞれの病院に特徴があり、病院として特徴を出して行ってきたいということがあると思うが、なかなか対応できない場合があるということを理解してほしい。話し合っていけば良い。

○ [] 先生

救命センターに患者さんを紹介する場合、内科当番か外科当番か迷う事がある。特に腹部関係。内科と判断し、紹介したら外科だったということもあると思うが、診療所から内科だと紹介したらそのまま診てほしい。外科だった場合は病院から対応してほしい。初期対応する医師に伝えてほしい。

○ [] 院長

内科当番日に手術症例も来るだろうし、脳卒中の場合、内科当番日に来て手術適用だったら脳神経外科医師が呼ばれる。外科・脳神経外科医師は、内科当番日は緊急手術になるという意識で対応している。どちらの当番日も外科系が対応できる準備は出来ている。

○ [] 先生

石山先生は対応できても、初期対応医師が出来ていなければ。

○ [] 先生

紹介があったら対応するよう伝える。

○ [] 先生

済生会のケース。済生会に紹介したら、それは外科だということで他の病院に送った。済生会がどうということではなく、初期対応した医師の判断。今後は、しっかり対応してほしい。

○ [] 院長

稀なケース。麻酔科の対応が不十分で、手術する側は居てもやむなく他へ送らざるを得ない場合もあるが、それは、初期対応の段階というよりも、診察してからの段階。それは病院間の問題。それとは別の問題。紹介されたら、まずは診るということをしっかり伝える。

○ [] 先生

ある病院で、ワーファリン服用中のイーツーネットの患者さんにワーファリンの服用を止めて検査を実施しようとした(元々胃がんがあり、内視鏡検査が未実施だった)。その際、病院看護師がワーファリンの服用を止めてほしい旨の連絡を診療所に行い、診療所医師がそれは提案か命令かと尋ねると、強い口調で命令だと答えたため、診療所医師は立腹したとの事例があった。医療の指示は医師同士で行ってほしい。また、この患者さんについては、病院が同じ頃に紹介のあった別の診療所へ逆紹介してしまったということもあり、二重で腹が立ったと。連携に関しては慎重な対応を。

○ [] 院長

地域医療支援病院として、提携医療機関は済生会登録医の名簿を提出している。登録医ではない診療所医師とも連携をとっている。医師会に所属している医師を提携医療機関として提出してもよいか。登録医は電子カルテを閲覧できるということがあるが、あまり利用されてい

ない。済生会登録医で今まで通り提出するか、それとも医師会所属医師で提出するのが現実的なのか。

- 〇〇〇 会長 登録医自体が古くなっていると思う。更新しなければと思っているが。
- 医師会医師 他病院もオープンシステムでかなり前に登録していた。
- 〇〇〇 主幹 形骸化している。
- 〇〇〇 院長 今年度は提出済。来年度に向けて検討を。
- 〇〇〇 会長 医師会で検討を。

8. その他

9. 閉会挨拶

終了 21 : 20

平成26年度病診連携システム運営協議会（清水）

（第14回）

日時： 平成27年1月20日（火） 19:00～20:35

場所： 清水保健福祉センター3階 視聴覚室

出席者： <静岡市清水医師会>

会長	[REDACTED]	[REDACTED]
副会長	[REDACTED]	[REDACTED]
副会長	[REDACTED]	[REDACTED]
理事	[REDACTED]	[REDACTED]
理事	[REDACTED]	[REDACTED]
理事	[REDACTED]	[REDACTED]
理事	[REDACTED]	[REDACTED]
理事	[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]（静岡市立清水病院長）	事務局長 [REDACTED]
	[REDACTED]	事務局 [REDACTED]

<静岡済生会総合病院>

[REDACTED]	病院長
[REDACTED]	副院長
[REDACTED]	副院長
[REDACTED]	副院長
[REDACTED]	消化器内科部長（地域医療委員会 委員長）
[REDACTED]	看護部長
[REDACTED]	事務部長
[REDACTED]	看護師長
[REDACTED]	地域医療センター主幹
[REDACTED]	地域医療センター看護師副主任
[REDACTED]	医療相談室長
[REDACTED]	地域連携室長
[REDACTED]	地域連携室

1. 開会挨拶

2. 挨拶

3. 内容（資料参照） 意見交換

報告

- 先生 逆紹介率が減っているのは何か原因があるのか。
- 院長 平成23年度は、院内の取り組みとして外来を減らそうということで、逆紹介に注力したため、この年度のみ値が上がっている。

副主任報告

- 先生 退院前カンファレンスはいつ・どれくらいの時間か。
- 副主任 30分から一時間を目安に行っている。2回程行う。方向性が決まった時、具体的にサービスの内容を調整するのは退院の1週間前程。
- 先生 20分程度のところもある。事前に根回しをして、簡単にということであれば可能かもしれない。
- 副主任 昼間は診療所の仕事があるので、夜間に開催することもある。
- 先生 尾道・熊本は時間を短くしている。退院時にかかりつけがある患者さんはよいが、他の患者さんはどのようなところを望んでいるのか。
- 副主任 かかりつけ医がある方は、その診療所へ問い合わせをする。無い場合は自宅近隣・往診が可能・看取りが可能などの診療所を探している。
- 先生 往診と看取りがポイントか。
- 副主任 高齢者が帰る場合、依頼することが多い。
- 先生 経済的負担について言われる患者さんは多いか。
- 副主任 高齢者の世帯では年金のみということがあるため、患者さんに金額を提示して相談。
- 先生 先生が中心となり、強化型在宅支援診療所を行っている。負担が増えると思うが、そういった事を理由に選ばないという患者さんはいるか。
- 副主任 今までは無い。
- 先生 先生、どちらにするかと決めたりすることがあるか。
- 先生 患者さん・家族に説明を聞きに来てもらい、金額を提示している。その時点で厳しいという患者さんはいない。別なケースで厳しいという方がいるが、その方は病院にすら受診していない。
- 先生 看取りについて、蘇生が必要無い方の場合、診療中では駆けつけること

が難しい。2～3時間以内ということになっていけば、遠方にいつている場合も対応可能。医師がいない場合、救急車に依頼すると検死になり大変。そのような事情を病院から患者さんに説明してもらえれば、受け入れ可能な診療所が増えるかもしれない。

- 先生 退院時に往診可能な診療所を探すのに苦勞する事は。
- 副主任 がん末期の方のCVポート、麻薬処方など、医療材料・処方などの面で相談している。
- 先生 相談センターを開設予定。利用していただければ。
- 先生 看取りについては苦勞している。家族が待ちきれず救急車を呼ぶ事もある。他の診療所へ依頼したりとか。

主幹報告

- 先生 静岡医師会との協議に清水医師会も一緒に取り組むことは可能か。
- 先生 相談をさせていただく。
- 先生 救急患者は紹介率の計算には入らないか。
- 院長 従来、紹介患者で救急搬送されて来た方は分子に含まれていたが、現在は除かれているなど、計算方法が変更になった。救急患者も計算に含まれる。
- 先生 先生、先生に直接連絡をとっている。小児科については問題無い。
- 先生 泌尿器科の連携は問題無い。在宅医療行っており、サテライトとも連携している。
- 院長 昨年度は循環器内科・腎臓内科の件でご迷惑をかけた。在宅支援にどう結びつけるか、改革的な事を行っている。ケアマネの決まっていな方は、退院までに介護認定をとらせるか。あるいは、退院後か。
- 副主任 サービスをすぐに利用する方は、自宅に帰る前に行っている。
- 院長 介護の認定が終わり、ケアマネを中心として多職種が受け入れ体制をとっておかないと安心して帰れない。介護認定の委員会で問題となっていることがある。入院中に申請を行うと、看護師がある程度介助をするため、全介助のような形になり、4、5ということになる。短期で申請というのはどうか。サービスがすぐに受けられるように退院前に申請をするが、そのために認定が重くなってしまうのはおかしいのではという意見もある。
- 副主任 まだ点滴しているとか、食事がどうなるか不明という場合は、申請はまだ行わない。ある程度目安が出たら申請。区役所介護課と相談しながら申請。
- 主幹 入院中で、管がまだついているのに申請した場合、申請時期が疑問だが、区役所は申請があれば受けざるを得ない。家庭で評価した場合は重いはずの方が、バリアフリーの病院で評価すると軽くなってしまうこともある。介護保険制度の見直しが必要か。

- ■■■先生 脳梗塞の方、済生会が最後の砦になっている。デイケア・理学療法・作業療法を行い始めた。
- ■■■先生 清水の耳鼻咽喉科診療所は済生会・耳鼻咽喉科と連携。不自由していない。平日午後・土・日に入院が必要な患者さんがいた場合、清水区の病院、静岡厚生病院が当番病院だと常勤医師がいないため、紹介先に苦慮している。救命当番ではない時も何とか受け入れられる仕組みを。
- ■■■先生 在宅医療支援診療所を行っている。グループを作って機能強化型という形で手分けをして行っている。がん・ターミナルの方、在宅期間をできるだけ長くしたい。タイミングが難しいとは思いますが早めに連絡を。
- ■■■先生 サテライト御門台の近くで開業。以前は在宅医療に熱心ではなかったが、行い始めた。通院が長い患者さんも在宅医療になる方が増えている。機能強化型で患者さんを責任もって診ていくためには、24時間に対応できる訪問看護ステーションが必要か。病院として、さらに訪問看護に力を入れていただければ。
- ■■■先生 S-NETで5年経過した方がいる。患者さんにとっても診療所医師にとっても喜ばしいこと。患者さん、診療所、病院にこのシステムはメリットが大きい。登録数が増えただけでも良いのでは。
- ■■■先生 消化器内科を専門。病診連携より訪問看護ステーションとの連携が多い。経鼻・経管の患者さんを受けたことがあるが、医療材料についての対応を紹介時に教えてもらえると良い（保険点数についても）。
- ■■■先生 内科・小児科・透析を行っている。透析を行っている総合病院が減っている。県総・市立静岡・済生会の3カ所。休日・夜間など、透析設備のない病院が当番病院だと紹介先に苦慮している。市内で何らかの受け入れルートを構築していただければ。
- ■■■先生 脳卒中イーサーネットと連携。腎臓疾患の患者さんを紹介するタイミングを、清水病院の場合はある程度把握していたが、どのような状態の時に病院に紹介したら良いのか悩んだ。
- ■■■先生 内科医が少なく迷惑をかけている。認知症・脳卒中末期の方の看取りは地域全体で診ていかなければと思っている。アルツハイマーの方などは、最後は食べられなくなっていく。病院に受診をしている場合、その点を説明。家族が、そういう状態になっても最後まで治療を望べばそのように対応するが、寿命であるとわかっていることが多い。地域で看取っていかなければ、医療経済の面でも不幸な状態。地域で解決していかなければいけない問題だと思っている。
- ■■■先生 ■■■先生の件は、連絡をいただければ問題ない。
- ■■■先生 救急の場合もか。
- ■■■先生 救急の場合も連絡をいただければ。
- ■■■先生 高齢者、重篤な手術の方は元のADLに戻らない事が多い。在宅では難しい方が多いが、少しでも在宅が可能な方を増やすのが今後の課題。S-NETを今後すすめていく。逆紹介をすすめていく。

- 先生 消化器内科医師が少ない時期大変だったが、増員になり体制整った。
- 部長 BSC 病棟作った。病棟の半分が、ターミナルや緩和医療の患者さん。清水地区の診療所が在宅医療を連携して行っていることを病棟看護師に伝える。病院から診療所へ患者さんを紹介場合、専門的な知識が必要な事もある。皮膚・排泄、透析、糖尿病、感染症、救急、がん疼痛緩和、緩和、化学療法などの認定看護師がいるので、必要な場合は連絡を。
- 部長 院内には主要な建物が7棟ある。北館・南館A・南館B・東館A・東館B・西館・健康管理センター。救命センター・手術室・検査室・放射線・給食部門が入る南館Bの建築工事を行っている。主要な建物が7棟から5棟になる。新しい機能を追加して病院として発展していく。
- 師長 出来ましたら予約を入れていただければ。急な診療の場合は連絡を。
- 室長 生活困窮者の方、難病の方など、制度が厳しくなっている。ご協力をお願いすることがあるかもしれない。よろしくお願いします。
- 昨年4月から連携室配属。対応を早くしていきたい。
- 先生 予約を取って病院に受診ということは医師会の意向であるが、診療所の先生方に伝わりきれていないのが実情。紹介するための資料を各病院から集める予定。紹介患者の紹介状はFAXで送られているか。
- 予約の際は、ほとんどの診療所から紹介状がFAX送信されてくるため困ってはいない。
- 先生 予約の際は、紹介状が間に合わない場合があるため、申込み用紙で対応をお願いしたい。
- 先生 紹介状を持参しなかった患者さんについて、診療所に依頼の連絡をもらってもかまわないが、現状はどのようにしているか。清水病院からは連絡が来るシステムをとっているが。
- 外来の患者さんについては依頼を行っていない。診療科の医師から依頼があれば、診療所に紹介状の依頼をしている。救命センターに受診をされた患者さんについては、かかりつけ医に受診報告をしている。
- 先生 先生から取り組みの説明を。
- 先生 処方内容・既往歴を知りたい。患者さんの同意を得て、かかりつけ医に問い合わせをしている。
- 院長 診療所からは、診療中のため、すぐに紹介状は来ないと思うが、保険外併用療養費はどのようにしているか。
- 先生 後で紹介状がくる場合があるが、保険外療養費は算定していない。算定してしまうと返金業務が手間になる。
- 先生 簡単な形式の用紙がある。それをまずは送る。
- 院長 当院も取り入れたい。
- 先生 紹介状が必要な場合は、遠慮無く連絡を。
- 先生 以前送付されてきたアンケートが白紙になった経緯は。

- [] アンケートの実施について、医師会に事前に打診をしないで行ったことと、同様のアンケートが各病院から別々に来た場合、対応が大変ということで、いったん白紙に戻し、病院間で調整することになった。
- [] 先生 静岡医師会では、CD-R の形で診療所の機能を紹介しているので、あらためて情報収集するという事に抵抗はないのでは。清水医師会では、[] 先生が管理している DtoD というホームページに機能を載せている。診療所の機能を示すのは可能だが、抵抗のある診療所もあるので慎重に行うべきである。
- [] 先生 従来は、疾患別の病診連携がメインであった。現在は在宅医療が診療のなかで非常に大きなウエイトを占めている。今日の協議会でも在宅・ターミナルをどうするかといった意見が多かった。病診連携はあらたなステップに入った。知恵をあわせて解決していかなければならない。疾患別の連携が機能したように、在宅に関する連携も構築していければ。

終了 20:35

平成 26 年度第 2 回 静岡済生会総合病院 地域医療支援病院運営委員会

日時 : 平成 27 年 2 月 24 日 (火) 19 : 30 ~ 20 : 50

場所 : 静岡済生会総合病院 第 3 会議室

出席者

院外 [REDACTED] (静岡市静岡医師会 副会長)
[REDACTED] (静岡市清水医師会 会長)
[REDACTED] (静岡市静岡歯科医師会 副会長)
[REDACTED] (静岡市保健所 所長)

欠席 [REDACTED] (静岡市薬剤師会 副会長)
[REDACTED] (静岡県立大学短期大学部 教授)

院内 [REDACTED] (病院長)
[REDACTED] (副院長)
[REDACTED] (副院長)
[REDACTED] (副院長)
[REDACTED] (地域医療委員会 委員長)
[REDACTED] (看護部長)
[REDACTED] (事務部長)

事務局

[REDACTED] (地域医療センター)
[REDACTED] (地域医療センター 入退院管理室)
[REDACTED] (地域医療センター 地域連携室)
[REDACTED] (地域医療センター 地域連携室)

1. 開会挨拶

2. 自己紹介

3. 議事 (資料参照)

4. 意見交換

- 先生 在院日数が長いということだが、待機期間が長いのか。療養型・リハビリ病院への転院は時間がかかるか。
- 先生 家族の意向を第一に決めている。近い所を希望、金銭的な理由などで、在院日数が長くなっている。遠いところは希望しない。
- 院長 希望どおりに対応するのは当院では限界に来ている。別の病院・施設などを経由するとか。
- 看護部長 介入するまでに時間がかかっている。予定入院の場合など、入院前から介入している病院がある。地域の保健センター・訪問看護師・民生委員・診療所医師などとの連携。情報を集めていくことで介入が早くなっていく。
- 先生 県総は入院するとすぐに介入している。怒る患者さんもいる。どこの病院もそのような対応だという常識になれば良いが。
- 院長 介入を早く。大腿骨骨折はパスにのればよいが、のらない場合は難しい。
- 先生 大腿骨骨折で肺炎などを併発する方など難しい。
- 院長 介入から転院まで30日かかる。待機長い。行先を複数用意するなりして待機期間を短くするとか。患者さんの希望どおりに行かないのはやむを得ないと。
- 先生 自宅から入院して来た方は、元いた場所に戻って欲しいというのが看護の立場。ADLが落ちたりなどして在宅に戻れない患者さんもいる。地域と連携してもう少し在宅に戻れる患者さんを増やしたい。
- 先生 退院前カンファレンスだが、診療所の医師は忙しい。他県は10分とか20分とか、クリニックで実施するとか。カンファレンスの時間をいかに短くするか。県総では入院してすぐに介入すると怒る患者さん多い。説明の仕方次第では。富沢病院を静岡の人は遠いと言うが、他県ではもっと遠いところがある。ある程度の距離、家庭の状況(車を運転できる人がいる)によって遠くてもよいのでは。
- 院長 当院は社会福祉法人、意識を変えるのが難しい。
- 先生 意識を変えていかなければ大変になっていくのでは。
- 先生 身寄りの無い方などは今まで通りの対応で、一般の方は厳しくしていく。
- 先生 独居の患者さんなど特養に入るポイントが上がるか。
- 先生 優先順位は高くなる。医療を持っている人が特養に行くのは難しい。吸引ができないなど。
- 看護部長 吸引の研修をしては。
- 先生 特養は、夜間、看護師がいない。研修を受けた介護職だけでは無理。
- 先生 静岡市担当、あまり措置入所やらない。

- 先生 浜松は特養がガラガラ。サ高住が人気がある。
- 先生 静岡は一人あたりの医療費が低い方から5番目くらい。西の方、九州は後方病院にどんどん入院。医療費があがる。医師も多い。四国も。
- 先生 徳島が一人あたりの医療費高い。
- 先生 カンファレンスを行う時、10回連絡して1回出るくらい。意見をあらかじめ聞いておくというのもよいのでは。
- 医療と介護の連絡協議会で、医師よりどんどん連絡ほしいと言われた。
- 先生 何回も連絡するうちに、対応する診療所も増えていくのでは。
- 先生 逆紹介率が上がったのはなぜ。
- 総合入院体制加算の施設基準申請を行ったことも一つの要因か。
- 先生 後付け紹介に協力。他科の転科すると返事が来ない場合も。事務方からの受診報告に、詳細は後ほど担当医からと記載があるが、来ない場合も。
- 先生 先程の資料で、5病院の連携室で逆紹介するための診療所の情報をまとめるとは。
- 院長 当院で先走り、アンケート形式で診療所の情報を集めようとしたが、医師会より市内の他病院からも同じようにアンケートが来た場合、対応が大変との意見があった。5病院で統一。
- 先生 5病院の要望として共通のものを提案していただければ、医師会として対応。
- 先生 顔写真があるとよいのでは。本人が承諾した人のみとか。

5. その他

6. 閉会挨拶

終了 20:50

別紙9 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他 ()
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療ソーシャルワーカー 5人 看護師 4人
患者相談件数	10828件
患者相談の概要	
<p>①患者相談 (一般的な相談)</p> <p>②医療行為・医療事故・情報公開</p> <p>③診療報酬等の費用負担・・・・・・506件</p> <p>④職員の対応・接遇</p> <p>⑤病院の設備、人員、運営体制等</p> <p>⑥その他</p> <p>・制度説明 173件</p> <p>・転院支援 921件</p> <p>・在宅療養支援 479件</p> <p>・受診相談 130件</p> <p>・その他 212件</p> <p>*合計2421件 (延べ件数 10828件)</p> <p>当院は「無料低額診療事業」を行っているため、生活困窮者に対する医療費の相談に力をいれている。</p> <p>又、急性期の病院のため、医師や病棟看護師より退院支援の依頼が多い。</p> <p>この事に対し、地域の診療所や在宅サービス事業所と連携して、あるいは他の医療機関に紹介するなど相談支援を行っている。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう

配慮すること。

別紙10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	Ⓐ・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構（2011年4月）：今年度11月受審予定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	Ⓐ・無
・情報発信の方法、内容等の概要 地域の医療機関向け情報紙「医力」年4回 患者向け情報誌「HOME」年6回 ホームページ	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	Ⓐ・無
・退院調整部門の概要 担当課：地域医療センター 医療相談室 職員数：医療ソーシャルワーカー5人 看護師4人	

退院調整に関わる統計数値 添付 資料⑧

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	Ⓐ・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 大腿骨地域連携パス：入院件数263人 パス適応108人 脳卒中地域連携パス：入院件数283人 パス適応16人 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組みに医師と地域連携職員が参加 イーツーネット大腿骨頸部骨折地域連携クリニカルパス会議 3回/年 イーツーネット脳卒中医療連携総会・打合せ 2回/年	

平成26年度

介護支援連携指導料 300点

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
S3		7	4	5	5		1		1	2		1
S4		1	1	1	4			2	2	1		1
S5			2				1	1				
S6			3	2	3							1
S7			1		2		1			3	2	1
S8		4	2	2			2	1	3	2	3	2
S9		1		2			4		1	1	1	2
S10		3	4		1	1	1			1	2	1
N4			1		2				1			
合計件数		16	18	12	17	1	10	4	8	10	8	6

114 ¥342,000

退院調整加算

算定点数別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
14日以内 340点	68	72	56	86	74	58	15	20	29	30	38	37	583	¥1,982,200
30日以内 150点	48	45	61	58	59	46	34	35	42	41	50	47	566	¥849,000
31日以上 50点	51	65	49	54	49	49	44	44	39	58	63	53	618	¥309,000
合計件数	167	182	166	198	182	153	93	99	110	129	151	137	1767	¥3,140,200

病棟別

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
S3		21	13	20	17	17	17	14	15	17	18	19
S4		9	10	15	20	18	14	22	17	16	12	18
S5		23	19	26	25	20	26	25	14	22	24	22
S6		20	40	25	40	45	32	8	23	17	16	27
S7		19	16	15	20	7	10	0	1	2	18	18
S8		16	6	7	11	13	5	6	7	4	9	11
S9		11	30	20	16	16	19	12	16	24	20	26
S10		45	45	36	46	44	30	5	6	5	10	6
W2												8
W3		1	2	0	0	0	0	0	0	1		
N3		0	0	0	1	0	0	0	0			1
N4		2	1	2	2	2	0	1	0	2	2	1
合計	167	182	166	198	182	153	93	99	110	129	151	137

退院時共同指導料2 300点

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
S3				1								
S4					2		1			1		1
S5												1
S6			1	1	1							
S7				1			1					
S8		1		1		1		1				
S9			2	1	1	1			1			
S10			1			1		1				
N4		1										
合計件数	2	2	5	4	3	3	2	2	1	1	2	2

29 ¥87,000

H25年度算定数

	退院調整加算			介護支援 連携指導 料	退院時 共同指導 料
	14日以内	30日以内	31日以上		
4月	66	47	56	7	/
5月	71	51	51	8	
6月	68	51	30	9	
7月	98	59	28	13	
8月	74	57	47	13	
9月	56	42	50	11	
10月	63	60	56	7	
11月	83	40	55	10	
12月	101	69	50	11	
1月	73	46	59	5	
2月	62	46	45	6	
3月	73	39	62	10	
合計件数	888	607	589	110	
項目別収益	¥3,019,200	¥910,500	¥294,500	¥330,000	¥54,000
収支差	¥4,224,200			¥330,000	¥54,000

※退院時共同指導料はH25.7月分より算定確認を始めました